

各務原都市計画地区計画の決定（各務原市決定）

各務原都市計画 那加北地区 地区計画を次のように決定する。

名 称	那加北地区地区計画	
位 置	各務原市那加桐野町1丁目の一部、2丁目、3丁目、4丁目、5丁目の一部、6丁目、7丁目、8丁目の一部、那加芦原町1丁目、2丁目、那加琴が丘町1丁目、2丁目、3丁目、那加土山町1丁目、2丁目、那加岩地町1丁目の一部、那加西市場町1丁目・4丁目の一部、那加山後町1丁目・2丁目の一部、尾崎西町2丁目の一部	
面 積	約78.3ha	
区域の整備	地区計画の目標	<p>当地区は、東海女子大学、東海女子短期大学を含み、主に既存の集落が連たんして形成されている地区で、その集落を囲むようにして県道長森各務原線、都市計画道路岐阜稲羽線、都市計画道路日野岩地大野線が位置する将来の利便性が期待される地区である。</p> <p>今後は、既存市街地については土地利用がかなり進行しているため、現状を重視して地区施設を配置し、周辺地域については市街化の進展に合わせた地区施設を配置する。また建築物に関する計画を定め、開発行為や建築行為を適切に誘導するとともに、緑の基本計画に沿って公園を配置し、調和のとれたゆとりある市街地を形成することを目標とする。</p>
	土地利用の方針	<p>既存集落地については、良好な環境を保護・育成し、周辺地域については、集落と調和のとれた住宅地区としての土地利用を計画的に促進する。大学周辺については、教育環境を保護しつつ良好な環境の住宅地形成を図り、既存開発地の琴が丘団地については、低層住宅地としての土地利用を堅持する。また、都市計画道路岐阜稲羽線沿道の小規模な工場、業務及び商業施設が多く立地する地区については、幹線道路の沿道にふさわしい主として環境の悪化をもたらすおそれの無い工業の業務の利便を図り、都市計画道路日野岩地大野線沿道については、将来の沿道型土地利用を見据えて店舗等の立地等利便性も兼ね備えた土地利用への誘導を図る。</p>
	地区施設の整備の方針	<p>地区施設については、既存の集落内は居住者が利用する生活道路としての拡幅道路及び土地利用の増進を図るための新設道路を配置し、周辺については市街化を促進する道路及び地区の外郭を形成する道路としてそれぞれ必要規模の区画道路を配置し整備する。</p> <p>また公園については、調整池機能（22,800立方メートル）を持たせた公園を含む都市公園5箇所を配置し整備する。</p>
	建築物等の整備の方針	<p>地区全域に敷地面積の最低規模を指定し、敷地の再分割による過小宅地を防止し、日照等のスペースが確保されたゆとりある市街地が形成されるよう誘導する。</p>
開発及び保全の方針		

地区整備計画	地区施設の配置及び規模	道 路				
		名 称	幅 員	路線数	延 長	備 考
		区画道路(拡幅)	6.0 m	42本	約4,302 m	
		公 園				
		名 称	個 所 数	面 積	備 考	
		街区公園	2箇所	約 12,040 m ²		
	建築物に関する事項	建築物の敷地面積の最低限度	150平方メートル			

「区域及び地区整備計画の区域は計画図表示のとおり」